

第 48 期

事業報告

(2016年度)

自 平成28年 4 月 1 日
至 平成29年 3 月31日



公益財団法人
内藤記念科学振興財団

〔Ⅰ〕第48期（平成28年度）事業概要

内藤記念科学振興財団は、昭和44年4月7日付け、委大第4の1号をもって文部大臣より設立の許可を受けて、定款に定められた諸事業を開始した。平成28年4月1日から平成29年3月31日に至る第48期（平成28年度）の事業活動として、定款第3条に掲げる、「人類の疾病の予防と治療に関する自然科学」の研究を奨励し、もって学術の振興と人類の福祉に寄与することを目的として、定款第4条に基づき下記の諸事業を行った。

1. 第48期（平成28年度）の事業について

平成28年度は、以下の事業を実施した。

（1）公募事業

① 科学振興賞（褒賞）

科学振興賞は、当財団が定めた日本遺伝学会ほか計32の学会（長）、ならびに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼し、13件の候補を受け付け、選考委員会で審査した後、理事会において受賞1件を決定した。

② 科学奨励金・研究助成

科学奨励金・研究助成は、401件の申請を受け付け、90件を採択した。

③ 科学奨励金・若手ステップアップ研究助成

科学奨励金・若手ステップアップ研究助成は、13件の申請を受け付け、3件を採択した。
平成26年度および27年度からの継続分それぞれ3件を合わせ、合計9件を助成した。

④ 女性研究者研究助成金

女性研究者研究助成金は、出産や育児によって研究を中断した女性研究者の研究職場への復帰と研究業績向上の支援を目的として設立された。平成28年度は97件の申請を受け付け、20件を採択した。平成26年度および平成27年度からの継続分それぞれ20件を合わせ、合計60件を助成した。

⑤ 次世代育成支援研究助成金

平成28年度より、次世代の基礎研究者育成を支援するため、新たに次世代育成支援研究助成金を創設した。本年度は93件の申請を受け付け、10件を採択した。

⑥ 海外研究留学助成金

海外研究留学助成金は、106件の申請を受け付け、10件を採択した。

⑦ 海外学者招聘助成金

海外学者招聘助成金は、14件の申請を受け付け、14件全件を採択した。

以上、②～⑦までの6事業については、全国の国立・公立・私立大学など700余の自然科学系研究機関の長、ならびに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼した。なお、⑦の海外学者招聘助成金については、この他に当財団が定めた32学会（長）にも推薦を依頼した。受領者の採択は、選考委員会での審査・選考を経た後、理事会で決定されたものである。

⑧ 講演助成金

当財団が定めた32の学会（長）、並びに当財団の理事・監事・評議員に候補者の推薦を依頼し、国際会議の開催時期に応じて、四半期毎に年4回申請を受理した結果、18件を受け付け、選考分担理事4名および選考委員長で構成される審査会で審議の上、常務理事が決裁し、18件を採択した。

⑨ 特定研究助成金

平成28年7月に第41回内藤コンファレンス『がんの多様性・可塑性と治療抵抗性』、同年10月に第42回内藤コンファレンス『生命科学に革命をもたらす最先端構造生物学』を開催し、それぞれの組織委員会においてポスター発表者の中から10件を選出し、各内藤コンファレンスとも、10人に500万円、総額1,000万円を助成した。加えて平成29年度に開催される第43回内藤コンファレンス『非コードRNA：生物学、化学、そして疾患』の組織委員5人に900万円、第44回内藤コンファレンス『意思決定の脳科学－動機、予測と学習』の組織委員5人に900万円、合計10人に総額1,800万円を助成した。

公募助成金の応募件数と採択件数、平成28年度支払った助成金額は次のとおりである。

助成金の実績

科 目	申請数	採択件数	採択率	予 算	贈呈額
科学振興賞（含金メダル）	13 ^件	1 ^件	8%	10,600,000 ^円	10,632,772 ^円
科学奨励金・研究助成	401	90	22	270,000,000	270,000,000
科学奨励金・若手ステップアップ研究助成	13	3	23	27,000,000	12,800,000
（平成27年度からの継続分）	3	3	100		8,700,000
（平成26年度からの継続分）	3	3	100		10,000,000
女性研究者研究助成金	97	20	21	120,000,000	40,000,000
（平成27年度からの継続分）	20	20	100		40,000,000
（平成26年度からの継続分）	20	20	100		40,000,000
次世代育成支援研究助成金	93	10	11	20,000,000	20,000,000
海外研究留学助成金	106	10	9	45,000,000	45,000,000
海外学者招聘助成金	14	14	100	10,000,000	7,700,000
講演助成金	18	18	100	10,000,000	9,000,000
特定研究助成金	167	30	18	28,000,000	28,000,000
合 計	968	242	25	540,600,000	541,832,772

以上、公募9事業において、申請968件に対して242件を採択し、総額541,832,772円を助成した。なお、上記助成額に加えて、科学奨励金・若手ステップアップ研究助成は2,630万円、女性研究者研究助成金は1億2,000万円の次年度以降の支払いが、すでに確定している。

全ての助成金の受領者一覧表を 添付資料 として巻末に掲載した。

（2）助成事業以外の事業

① 講演事業（定款第4条第1項第7号）

a. 第41回内藤コンファレンスの開催結果

平成28年7月5日（火）午後から7月8日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレゼガトーキングダム サッポロにおいて、公益財団法人がん研究会代表理事・がん研究所所長 野田哲生博士を組織委員長として、第41回内藤コンファレンス『がんの多様性・可塑性と治療抵抗性』を開催した。平成28年度の費用総額は2,663万円であった。

b. 第42回内藤コンファレンスの開催結果

平成28年10月4日（火）午後から10月7日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレゼガトーキングダム サッポロにおいて、東京大学大学院薬学系研究科 嶋田一夫教授を組織委員長として、第42回内藤コンファレンス『生命科学に革命をもたらす最先端構造生

物学』を開催した。平成28年度の費用総額は2,644万円であった。

c. 第43回内藤コンファレンスの開催準備

平成29年6月27日（火）午後から6月30日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレレーゼガトーキングダム サッポロにおいて、東京大学大学院理学系研究科 塩見美喜子教授を組織委員長として、第43回内藤コンファレンス『非コードRNA：生物学、化学、そして疾患』を開催するため、組織委員会を編成しプログラムをまとめた。開催準備費用として、平成28年度は87万円を支出した。

d. 第44回内藤コンファレンスの開催準備

平成29年10月3日（火）午後から10月6日（金）正午まで、北海道札幌市 シャトレレーゼガトーキングダム サッポロにおいて、沖縄科学技術大学院大学神経計算ユニット 銅谷賢治教授を組織委員長として、第44回内藤コンファレンス『意思決定の脳科学－動機、予測と学習』を開催するため、組織委員会を編成しプログラムをまとめた。開催準備費用として、平成28年度は99万円を支出した。

e. 新規テーマ選定委員会と平成30年度以降の内藤コンファレンス開催準備

平成30年から平成32年に新規に開催を計画する内藤コンファレンスについて、その特定研究テーマを選定するために理事4名からなる新規テーマ選定委員会を編成した。関連32学会の代表者や財団役員、評議員および選考委員からの意見調査結果をもとに、委員会での審議を経て合計6テーマを新たに定め、組織委員長候補とともに理事会に答申した。理事会の決議を受けて、平成30年度以降に開催を計画する内藤コンファレンスの開催準備を開始した。平成28年度は新規テーマ選定委員会の運営費ならびに開催準備費として、41万円を支出した。

② 内藤記念くすり博物館での企画展示

理事会での承認を得て、内藤記念くすり博物館での資料収集・展示事業として企画展『感染症の世界－顧みられない熱帯病を中心として－』を開催し、開催費用として415万円を支出した。

③ 広報誌「内藤財団時報」の発行

本誌発行の目的は、当財団の設立趣旨と研究助成事業等の活動内容を公表し、大学・研究機関等およびご支援を受けた寄附者などの多くの関係者に、当財団への理解を促すとともに、定期的に活動内容のレビューを行うことにより、多方面からの継続的な支援を願うことにある。

第98号（平成28年9月6日）および第99号（平成29年3月16日）を発行し、寄附者、全国の研究機関、当財団の役員等関係者、助成金受領者、報道関係、他財団等に配布した。

*『内藤財団時報』第98号……………B5判 98頁、2,150部、116万円

*『内藤財団時報』第99号……………B5判112頁、2,250部、123万円

合計239万円を支出した。

2. 事業報告附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがない。